

## 巻頭言

日本音楽即興学会編集委員会委員長 安藤 大地

JASMIM ジャーナル7号をお届けします。今回は、研究報告1編、原著論文1編、JASMIM 助成金報告2編、2021年度大会開催報告を掲載することができました。

5号から年1回の定期刊行となり、今号で3年目です。今後も年1回の刊行を継続し、即興演奏の理論構築や実践報告などの日本の即興演奏の知の集積を継続することができるように、編集委員一同、精いっぱい努力していきます。

今回から理事の交代により編集委員が一部入れ替わりました。新しく着任した編集委員と、留任している編集委員の間での議論や伝達から、論文誌を編集する行為も、論文そのもののような知の集積の継続に近いということを実感しています。例えば、我々が普段意識していないワープロソフトウェアの日常的な作業も、明文化されていない膨大な慣行や方法論の塊であることがわかりましたし、さらに単純な編集のスケジュールですら、経験に裏打ちされた知によって構成されていることを痛感しました。

また、我々は、ただ知の集積にとどまらず常にその知を改善していくことも求められます。論文誌編集においては、テンプレートの改善や組版の効率化など、取り組めることはたくさんあると考えています。次年度以降取り組んでいこうと考えております。会員の皆様も、論文誌編集で何かお気づきの点がありましたら、ぜひ編集委員会へご連絡ください。

引き続き JASMIM ジャーナルをよろしくお願いたします。

（日本音楽即興学会編集委員会 安藤大地、田中順子、嶋田久美、若尾裕）